

平成 29 年 3 月 30 日

# ダムや道路が効果発揮

## 足立参院議員、災害特別委で 事前防災の必要性も

自民党の足立敏之参院議員は29日、参院災害特別委員会（若松謙維委員長）で質問に立ち、昨年も多く地域で自然災害が発生する中、ダムや高速道路などが洪水被害の軽減や地域の孤

質問で足立氏は「予防に優る治療なし」と主張した



立を防ぐことなどに大きな効果を発揮したと主張した。「予防に優る治療なし」との考え方で事前防災にしっかりと取り組むことの重要性も訴えた。

足立氏は、昨年8月の台風で大氾濫が発生した岩手県の小本川流域を視察した際、「頭のはるか上に最高水位が来る洪水痕跡が残っていた」と自然災害の猛威を報告。国土交通省には、施設規模を超える洪水への対応策をたどした。国交省の山田邦博水管理・国土保全局長は「発生直後からテックフォース（緊急災害対策派遣隊）を派遣し、被害状況調査や対応手続きの効

率化を支援した」と答弁。全国の中小河川で水防災意識社会再構築ビジョンに沿った取り組みが進められるよう、水防法などの改正案を提出した経緯も説明した。

昨年8月、1カ月に複数の台風に見舞われた北海道について足立氏は、「日本ダムアワード2016」の大賞に選ばれた金山ダムが下流の洪水被害を軽減するのに大きな効果を発揮し、幹線道路が寸断され人流や物流が途絶える中でかつて「熊しか利用しない」などと揶揄（やゆ）された道東自動車道が災害対応に大きな役割を果たしたと指摘した。

台風被害で4万畝と広範な農地に被害が生じ、卸売市場で農産物の価格が高騰するという影響が及んだことにも言及。国交省の田村秀夫北海道局長は、緊急治水プロジェクトから出た

河川の掘削土18立方畝を農地に提供し、17年度も引き続き同様の取り組みを進めると応じた。

北海道、東北を中心とする水害対策を取り上げた今回の質疑で足立氏は、テックフォースやその活動を支える地域建設業などの役割にも言及。「そこに住み、守るという役割を果たす建設業者が持続的に発展できる環境をつくっていかねればならない」と訴えた。

事前防災の必要性を説く中で松本純国土強靱（きよらじん）化・防災担当相からは、「社会全体で自然災害に備えられるよう、国土強靱化基本計画やアクションプランに基づき、施策の重点化や優先順位付を行っていく」との答弁も引き出した。